

# 行政報告

定例議会冒頭での町長・教育長の行政報告、今回は平成27年9月16日から平成27年11月15日までの3カ月間の状況報告です。以下、その中の主な項目について掲載します。

## 行政報告（町長）

### ■総合政策課関連

地方創生に係る緊急支援交付金事業の進捗状況

- ①プレミアム商品券発行事業。第2回分9231セットを販売する予定。
- ②子育て世帯商品券事業。7月から3カ月間受け付け、1243件（2108名分）1475万6千円分が支給決定通知済み。
- ③定住化促進のための住宅リフォーム支援事業。5月1日から募集を開始。雪対策に特化したリフォーム工事を町内事業者が依頼した場合に助成する。11月18日現在で13件の申請。外壁改修等計479万9千円を受け付けた。

### ■総務課関連

#### ふるさと納税

ふるさと納税の寄附者に対する返礼品の対応を12月1日より始めた。同時に、従来の寄附方法と合わせてクレジットカードによる決済も可能とした。WEB上でふるさと納税を募る多数の自治体との実績のある事業者に委託して運用している。

#### 旧東陵中学校

暫定的な校舎開放のための電気及び上下水道設備の改修が終了した。



旧東陵中学校校舎開放

利用料金は、児童生徒が中心となる団体は、原則無料。その他の団体は、光熱水費などの実費相当の料金とする。利用時間は、役場の開庁時間に合わせ、開放する。

### ■商工観光課関連

#### 観光中核施設整備事業

ひらふ高原地域活性化事業計画及び観光中核施設基本計画に基づき、民間資本を活用した事業計画を準備してきたが、建

設場所の土地の特性や民間建築の条件設定等、様々な課題が浮上してきた。

また、地域の駐車場不足や急速に変容する様々な状況を考慮し、整備手法の見直しをせざるを得ないと判断した。

併せて、札幌市が招致を目指す2026年冬季五輪のアルペン競技候補地を見据えた未来志向の施設整備を目指すべく、地域に必要なものを取り込んだ整備を再検討することとした。

### ■水道課関連

水道・下水道使用料の計算誤りによる還付

共用給水装置を設置している方の一部で、計算方法の誤りによる料金の誤請求があることが判明した。

平成16年12月に「倶知安町水道事業給水条例」の一部改正を行い、付随して「倶知安町水道事業給水条例施行規程」の一部を改正したことにより、共用給水装置での水道料金の基本料金の算定方法が変更となったが、該当者のデータの修正漏れがあり誤った額での請求となった。

契約者全てを確認したところ、水道14件11万7588円、下水道7件10万398円の誤りがあり、該当者への説明と還付の準備を進めている。今後このようなことが無いよう関係法令等及び事務処理手続きの確認を徹底し、再発防止と信頼回復に向けて全力で取り組んでいく。

教育行政報告  
(教育長)

■学校教育関連

全国学力・学習状況調査

小学校では、国語は知識でわずかに全国平均を下回ったがおよそ全国と同レベル、応用は全国平均を上回った。算数・理科は、知識・応用とも全国平均を上回った。漢字の読み書きは、各校で取り組んだ結果、正答率も大幅に上昇した。算数は「数と計算」で全国平均を大きく上回った。理科は、知識の問題で器具の名称や操作方法、記録の方法などの正答率が極端に低かった。

中学校では、平均正答率が全ての教科で前回調査を上回り、大きな改善が見られた。特に数学の応用は全道を上回り全国とほぼ同レベル、理科は全国平均を上回った。

小中とも、全国と比較して下位に位置する児童生徒数が減少し、ティーム・ティーチングや習熟

度別による指導方法の改善、学習支援員等によるきめ細かな指導の成果があらわれた。生活習慣や学習習慣に関する質問では、依然としてテレビ視聴やゲームの時間が長い傾向で、規則正しい生活や家庭学習、読書など家庭での生活習慣の改善を学校、家庭と連携をしながら取り組む必要がある。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査

調査の結果により、体育の時間や休み時間などに体育館や廊下のスペースを活用し、気軽に運動に親しめるように取り組んでいる。昨年度から有識者アドバイザー講師を招き、11月から翌年2月までは俱小、北陽小の体育館を会場にスポーツ推進委員、スポーツ指導員を中心に運動教室を開催し、楽しく遊びながら体力づくりと運動能力の向上に取り組んでいる。

小中高英語連携事業

11月3日にイングリッシュ・オータムデイキャンプを実施。小中学生19名が俱知安高校にて、俱高、俱農高、俱中の英語教師や、俱高、岩内町、古平町、仁木町のALT7名、俱高生10名の協力を得て、ハロウィーンをテーマとした英単語学習や体験ゲームなど英語によるコミュニケーションを行った。今後の予定は、2回目となる高校教員による各小中学校への乗り入れ授業及び3回目のイングリッシュ・オータムデイキャンプを年明けの1月にそれぞれ実施する。

旭化成建材のくい工事

本町の調査で、旭化成建材がくい工事に関係した工事は1件、1施設平成22年に実施した俱知安中学校耐震改修工事の正面玄関前の耐震壁設置のくい工事を担当し、スクリューパイルE A Z E T工法による鋼管くいを、計12本を施工した。この工事は報道にあるくい工法とは異なり、全国3040件のうち道内分422件の調査対象ではないが、同一業者が関わっていたため、教育委員会独自に調査を行った。工事監理者、元請業者、発注者の3者でくい工事の施工報告書を精査し、現地調査にて高さ測定器を使い、くい打設周辺の玄関ポーチ床の沈下測定、耐震壁と一体となったはりの傾きを測定した後、目視による外壁等の確認を行った。調査報告書の結果から本工事に関しては、データー流用等の改ざんはなく、適正に施工されたと判断した。現地調査の結果も、構造上問題となるひび割れなどはなく、数値上の傾きや沈下等の発生も見受けられないことから安全性が確保されていると判断した。

■社会教育関連

俱知安町総合文化祭

11月3日～8日開催。町内34団体、総勢300名を超える町民による歌や舞踊、ダンス等の芸能発表会の開催。

児童生徒作品展、絵画書道で35名に表彰、2名に文化賞、7名に文化奨励賞の表彰を行った。公民館では、町内各幼

稚園保育所園児の作品展示と生け花などを展示。世代交流センターでは、陶芸や絵画、書道作品を展示。俱知安中学校全校生徒によるモザイクアート2点を展示した。各ピアニ教室と小中学校、えぞふじ合唱団による町民音楽祭、俱知安町連合吟詠剣舞発表大会が開催され、全日程終了した。

俱知安町子ども議会

11月14日、小学生から高校生の10名が議員及び議長、事務局長となり実施。子ども議員からは図書館・総合体育館の利用や農業高校の活動のほか、まちづくりなど7つの一般質問が提出された。

リバーパークマラソン

誰もが気軽に参加できる記録会として、スポーツ推進委員が企画した。1 km 18名、2 km 30名、3 km 33名、5 km 44名の合計125名が参加し、全員が完走した。この記録会が定着し、町民の健康と体力の保持、増進につながることを期待する。



イングリッシュ・オータムデイキャンプの様子